

## 競技注意事項

1. 本大会は、2025年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則により実施する。
2. 競技者の招集は下記のとおりとする。競技者招集所は100mスタート後方のエリアに設置する。  
招集開始時刻：トラック・フィールド競技共30分前 ※棒高跳・走高跳は60分前  
招集完了時刻：トラック・フィールド競技共20分前 ※棒高跳・走高跳は50分前  
代理人による招集は認めない。必ず競技者係で招集を受けること。ただし、種目を兼ねて出場し、同時に2種目出場しているときはその旨を競技者係に申し出ること。また、リレー競走に出場するチームは、招集完了60分前までにオーダーを用紙に記入の上、招集所の競技者係に届け出ること。
3. アスリートビブスは胸部、背部の両面につけること（3000m以上の長距離種目の場合はオーダーナンバー）。ただし、跳躍種目の競技者はどちらか一方のみでよい。また、トラック種目は電気計時で行うため、出場の際はサイドビブスを右腰につけること（4×100mRは第4走者、4×400mRは～4走者）。なお、サイドビブスは各自で準備しておくこと。
4. 競技用具は、棒高跳のポールを除いて競技場備付のものを使用する。持参した用具の使用を希望するのは検査を受け使用許可を受けなければならない。又許可された用具は他の競技者にも使用させなければならない。
5. トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の番号順とする。
6. 走高跳のバーの高さ及びバーの上げ方は次の通りだが、出場選手の状況によっては審判長の決定による。  
男子：1m40(練習)→1m45→1m50→1m55→1m60→1m65→1m70→1m75 以後3cmずつ  
女子：1m10(練習)→1m15→1m20→1m25→1m30→1m35→1m40→1m45 以後3cmずつ
7. 更衣室の使用については本部の指示に従い、盗難に十分注意すること。また、各自の持ち物についてもしっかり管理すること。なお、届けられた落し物は、大会終了後、保管せずに処分します。
8. 競技用シューズは、靴底の最大厚さ20mmスパイクシューズ、またはノン・スパイクシューズとする。ただし、競技場内で行う競歩競技の靴底の厚さは、道路競技と同じ40mmとする。
9. リレー種目では、同一のユニフォームを原則とするが、デザイン、配色が同一であれば、選手によりユニフォームのタイプの組み合わせが異なっても良い。
10. 競技者・競技役員以外はグラウンドレベルへ立ち入ることは禁止。競技者・競技役員以外は必ずスタンドから観戦・応援・撮影をすること。
11. 撮影する場合は必ずADカードが見えるようにつけること。なお、100mスタート後方など撮影を禁止する場所を設ける。また、不審者を見つけた場合は速やかに近くの審判に伝えること。
12. 駒沢陸上競技場使用上の注意事項
  - ①テントやブルーシートは競技場内のプロムナード（回廊）にのみ設置し、公園内の園路や中央広場、自動販売機の前やすべてのゲートの外には設置しないこと。
  - ②ウォーミングアップは競技場内のプロムナード（回廊）とバックストレートで行い、中央広場ではドリルや流し、メディシンボールを用いた投てき練習などを行わないこと。
  - ③バックストレートでのウォーミングアップでは、審判の指示に従い、レーンの途中で止まったり、横切ったりせず、端まで行って周囲を確認してからレーンの外へ出ること。
  - ④ハードル練習可能時間及び場所は以下のとおり。  
100mH・110mH：開門～9：15・ホームストレート5～8レーン  
400mH：開門～8：45・バックストレート第2コーナー～7・8レーン
  - ⑤フィニッシュラインの横は立入禁止区域とする。また、カラーコーンで区切られているエリアには入らないこと。
  - ⑥ゴミは必ず各校で持ち帰ること。また、帰宅途中にあるごみ箱に捨てていかないこと。
  - ⑦スタンドを含む建物内は、すべてスパイクでの歩行は禁止。
13. 清掃当番校 ※清掃当番校は全競技終了後に本部前に集合してください。  
1日目：渋谷教育学園渋谷（第1支部） 2日目：都立富士（第4支部）